

表 目 次

Tab.1 川原寺略年表

Tab.2 出土瓦磚類集計表

図版目次

PL.1 調査区全景（1）

PL.2 調査区全景（2）

PL.3 総柱建物

PL.4 冶金関連工房（1）

PL.5 冶金関連工房（2）

PL.6 冶金関連工房（3）

PL.7 鑄造土坑（1）

PL.8 鑄造土坑（2）

PL.9 瓦窯と瓦溜り

PL.10 北面大垣と下層遺構

PL.11 冶金関連遺物類（1）

PL.12 冶金関連遺物類（2）

PL.13 冶金関連遺物類（3）

PL.14 瓦

PL.15 土器（1）

PL.16 土器（2）

例 言

1. 本書は古都保存事業に関わる史跡川原寺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は奈良県生活環境部風致保全課の委託を受けた奈良文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部が、平成15年2月14日から同年7月31日にかけて実施した。
3. 本調査は飛鳥藤原第119-5次調査に該当する。
4. 発掘調査には毛利光俊彦・内田和伸・渡辺丈彦・奥村直紀・小谷徳彦・松村恵司・小池伸彦・箱崎和久・前岡孝彰・富永里菜・飛田恵美子・渡部圭一郎・笥和也・村上隆があたり、小野沢亮子・梅澤教子（京都橘女子大学生）の協力を得た。
5. 本書の作成は、調査部長金子裕之の指導のもと、調査部全員があたり、以下のように執筆分担した。
I-1 松村恵司、I-2 竹内亮、I-3 箱崎和久、II-1~4 松村・富永里菜、II-3B・5 渡部圭一郎、III-1・2 富永、III-3 渡部、III-4 小谷徳彦・笥和也、III-5 前岡孝彰・飛田恵美子、IV 松村。
6. 遺構・遺物の写真撮影は、井上直夫が担当し、岡田愛が協力した。
7. 奈良文化財研究所・奈良国立文化財研究所の過去の刊行物に関しては、下記の略称を使用した。
『奈良国立文化財研究所年報2000-I』→『年報2000-I』・『川原寺発掘調査報告』奈良国立文化財研究所学報第九冊→『報告』・『飛鳥・藤原宮発掘調査概報26』→『藤原概報26』
8. 遺構図の座標値は、平面直角座標系第VI系（世界測地系）による。高さは、東京湾平均海面を基準とする海拔高であらわす。なお平面図には、世界測地系のほかに日本測地系の座標も括弧書きで併記した。
9. 本書の編集は松村恵司と富永里菜がおこない、稲田登志子・中川あや・東村純子・六車美保・飯田真理子・木瀬智晴の協力を得た。